

こちら編集委員会です

【2024年上半期の学会誌(1~6月号)で 最も多くダウンロードされた記事はこちら!】

学会誌掲載記事のweb閲覧状況を半期に一度集計しています。今回は2024年1月から6月までに掲載された記事で、掲載後3ヶ月間のダウンロード数が最も多かった記事を10位まで紹介します。

	掲載号	題目	第1著者(所属)
第1位	100-4	講座「宇宙天気研究に基づく社会インフラ防護と被害予測」 3. 宇宙天気に関する研究の様々な広がり ～磁気嵐の成因に関する研究紹介～	片岡 龍峰 (国立極地研究所)
第2位	100-1	プロジェクトレビュー「総説 プラズマ・核融合サイエンスチャート」 1. 前書き	森 芳孝 (光産業創成大学院大学)
第3位	100-1	プロジェクトレビュー「総説 プラズマ・核融合サイエンスチャート」 3.1 プラズマ科学	門 信一郎 (京都大学)
第4位	100-5	研究論文「日本国民の核融合研究開発に対する税負担意思額」	岩本 みさ (九州大学)
第5位	100-6	講座「宇宙天気研究に基づく社会インフラ防護と被害予測」 7. 磁気嵐の予測	三好 由純 (名古屋大学)
第6位	100-4	講座「宇宙天気研究に基づく社会インフラ防護と被害予測」 1. はじめに	草野 完也 (名古屋大学)
第7位	100-2	解説「電気光学検出を用いた相対論的クーロン電場の可視化」	太田 雅人 (大阪大学)
第8位	100-2	プロジェクトレビュー 「幅広いアプローチ(BA)活動における核融合炉構造材料開発」	野澤 貴史 (量子科学技術研究開発機構)
第9位	100-5	解説「直線型装置を対象とした非接触プラズマ統合輸送コード開発 の現状と展望」	田中 宏彦 (名古屋大学)
第10位	100-1	プロジェクトレビュー「総説 プラズマ・核融合サイエンスチャート」 3.2 プラズマ応用	金子 俊郎 (東北大学)

2024年上半期では、プロジェクトレビュー「総説 プラズマ・核融合サイエンスチャート」が上位10位以内に3件入っており、会員の皆さんの関心の高さがうかがえる記事であることがわかります。これまでのプラズマ研究の歴史から応用までが丁寧に説明されており、大変読みやすく、分野を俯瞰することができるものです。まだ読まれていない方は是非ダウンロードして下さい! また、講座「宇宙天気研究に基づく社会インフラ防護と被害予測」も同様に3件入っており、特に片岡先生が執筆された記事は、4月号出版直後に巨大磁気嵐が発生したこともあって、ダウンロード数ダントツの1位でした。高度な情報化社会に住む我々にとって、社会インフラ防護は、地震や台風予測と同じくらい重要な研究課題であることを痛感しました。

<https://www.jspf.or.jp/journal/index.html>